

1 題材 信頼し合える仲に

2 本時の指導

(1) 目標

他者の考え方に触れ、共に学び合うことで、他者に対する思いやりの心や相手の立場を考える態度を育てる。

(2) 情報活用能力の育成について

ワークシートの基本構造として、「自分の最初の考え」、「自分の考えに対する友達の考え」、「見直した自分の考え」の枠組みを設ける。自分の考えをワークシート上に残すだけでなく、付箋紙を用いて、他者の考えも可視化してワークシート上に残すことで、自分と他者の考えを比較し、自分の考えを見直すことができる。

(3) 準備 資料「知らない間のできごと」（出典：「小学道徳 はばたこう明日へ5」）

(4) 指導過程

時間	学習活動	指導上の留意点
6分	1 本時の学習課題をつかむ。	○ 人との関わり方について考える授業であることを伝える。
12分	2 資料「知らない間のできごと」を活用し、人との関わり方について考える。	○ 資料「知らない間のできごと」を読み、登場人物（あゆみさん、みかさん）の状況を把握させるようにする。
20分	3 携帯電話で送ったメッセージを直接顔を合わせて伝えた際に、物語の展開がどのようなものか考える。	○ 場面ごとに、登場人物（あゆみさん、みかさんの順）の気持ちについて、それぞれの立場で考えさせ、ワークシートに記述させるようにする。 ○ 4人一組のグループで「A 同じようなトラブルになる」、「B トラブルにはならない」という二つの立場に分けて、自分の考えを話し合わせるようにする。 <話し合いの流れ> ① 自分の考えをワークシートに書く。 ② ワークシートをグループ内で順に回して、 ③ 友達の考えに対する自分の考えを付箋紙に書いて、友達のワークシートに貼る。 ④ 貼られた付箋紙を基に、話し合う。 ○ 話し合いの中で特に印象に残った考えを取り出し、自分の考えを見直させるようにする。
<p>評価事項 他者の考え方に触れ、共に学び合うことで、他者に対する思いやりの心や相手の立場を考える態度を育てる。 【発言・ワークシートの記述内容】</p> <p>□・・・自分の意見に固執してしまったり、他者の意見に目を向けたりすることが困難な児童には、特定の付箋紙に着目させて、考えを引き出すようにする。</p> <p>☆・・・話し合いを通して、他者との感じ方の違いについて考えたことや気付いたことを踏まえて、自分の新たな意見を考えさせるようにする。</p>		
7分	4 本時の学習で学んだことを振り返る。	○ 相手の対場を考えた行動が大切であるということを共有し、本時の学習を振り返り、感じたことや考えたことを学習プリントに記入させるようにする。

※ 斜体・情報活用能力を育成する学習活動